

慈泉会 相澤健康センターに
脳ドックを受診された方あるいはご家族の方へ
信州大学における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2021年2月25日

「人工知能を用いた、脳白質の慢性虚血性変化、脳血管の蛇行・拡張(dolicoectasia)の自動判別プログラムの開発」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5055
研究課題名	人工知能を用いた、脳白質の慢性虚血性変化、脳血管の蛇行・拡張(dolicoectasia)の自動判別プログラムの開発
所属(診療科等)	信州大学医学部画像医学教室
研究責任者(職名)	金子智喜 助教
研究実施期間	倫理委員会承認日～2025年3月31日(西暦で記載)
研究の意義、目的	脳血管障害の危険因子を自動判別することを目的とした研究で、将来の診断補助といった画像診断に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2016年1月1日から2020年12月31日の期間に当院で脳ドック検査を受けられた方
利用する診療記録／検体	頭部 MRI 画像、年齢、性別、身体所見など
信州大学への試料・情報の提供方法	記録媒体により提供します。なお、データは匿名化して提供するため、個人が特定されることはありません。
研究方法	過去の頭部 MRI 画像を収集し、脳の虚血性変化や血管蛇行の程度を人工知能を用いて自動判別します
研究機関名	信州大学画像医学教室(責任者:金子智喜)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学医学部画像医学教室 研究責任者:金子智喜
問い合わせ先	金子智喜(信州大学医学部画像医学教室・助教) 電話:0263-37-2650

既存の画像データや診療結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、主任施設である信州大学に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。